

## コスタリカ経済定期報告(2023年1～3月)

2023年4月

在コスタリカ日本大使館 経済班

※出典:コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(COMEX)及び貿易振興機構(PROCOMER)。主な出来事については当地新聞記事<sup>1)</sup>による。

### 1 主要経済指標

	2022年	2023年		
		1月	2月	3月
累積輸出総額 FOB(100万ドル)	15,633.4	1,303.2	2,755.6	4,371.9
累積輸入総額 CIF(100万ドル)	21,352.2	1,901.5	3,654.7	5,735.4
貿易収支(100万ドル)	▲5,718.8	▲598.7	▲899.0	▲1,363.5
財政収支対 GDP 比(%)	▲2.52	▲0.17	n.a.	n.a.
消費者物価指数(CPI:2020年12月を100とする)	111.44	111.61	110.66	110.41
為替(通貨はコロン・1米ドルあたり中値・月末値)	601.99	557.40	564.27	545.95
政策金利(%) (年末・月末)	1.25	9.00	9.00	9.00
基本預金金利(%) (年末・月末)	2.90	6.52	6.69	6.63
外貨準備高(100万ドル) (年末・月末)	6,918.1	8,281.6	8,564.0	9,136.6

### 2 コスタリカのCPTPP加盟に向けた動き

- (1) 貿易省は、CPTPP加入に向けた手続きを急ぐために、2023年中に本年のCPTPPの議長国であるニュージーランド政府当局へ支援を求めようとしている。
- (2) マヌエル・トバル貿易大臣は、「貿易省は、コスタリカがCPTPPへ加盟するためにはすべての加入国のコンセンサスの承認を得る必要があるため、現在CPTPPに加入している11カ国へのロビー活動および政治的交渉を加速する」旨言及した。同国政府は、できる限り早くCPTPP加入手続きのための交渉の席に着きたいと考えている。
- (3) 政府によると、TPPは世界全体の貿易取引の17%、世界のGDPの13%、世界人口の6.8%を占めており、CPTPPはコスタリカにとって重要な経済圏の1つである。昨年、コスタリカ政府によるCPTPP加入の意図が表明された場において、チャベス大統領は、「CPTPPは、世界で1番の成長を遂げている自由貿易圏であり、またダイナミックで、近代的、包括的、また公平で平等な方法で多くの人々を貧困から脱却させられている地域でもある」旨強調した。同様に、トバル貿易大臣は、貿易投資の観点からのCPTPP加盟の重要性に加えて、中小企業、環境、規制統制、汚職との闘い、ジェンダーの包含の支援・促進の観点からも加入は重要であると、述べた。

### 3 中国大使館がブルナー第一副大統領へ電気自動車 AION V Plus を寄贈

- (1) 2月25日、「電気自動車祭り市民まつり(Festival Ciudadano de Movilidad Eléctrica)」が開催され、中国大使館がステファン・ブルナー第一副大統領専用の電気自動車を大統領府へ寄贈した。同イベントには、Tang Heng駐コスタリカ中国大使、ブルナー副大統領、コスタリカ電気自動車協議会、中国の自動車輸入業者であるEV2社が出席した。
- (2) 同イベントにおいて、Tang中国大使は、「コスタリカは環境保全への貢献は世界的に認められ

<sup>1)</sup> ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

ており、中国も国際社会において気候変動に対して非常に熱心に取り組んでいる。2022年、中国の電気自動車生産台数は世界全体の68%を占め、その多くの中国ブランドがコスタリカ市場でも存在感を示している」と述べた。中国大使館は、この寄贈は単なるブルナー大統領への寄贈としてではなく、将来の政府間の環境・エネルギー協議へもつながると確信している。

(3)ブルナー副大統領は「将来原油価格が高騰したとしても、自動車燃料や電気エネルギーが化石燃料に頼らず、影響を受けない社会が形成されることを願っている。もし、化石燃料に依存しないエネルギーを推進することができれば、カントリー・ブランドを支えることになり、当国が世界で販売する全ての製品に利益をもたらすだろう」と述べた。

(4)2022年、中国の電気自動車がコスタリカ国内市場において影響力は発揮したことは、製品の品質と同国内において中国ブランドが得た信頼を物語っている。なお、EV2社は、AION をはじめ、Xpeng、Wuling のコスタリカへの輸入を担当している。

### 3 コスタリカとエクアドルによる貿易連携協定への署名

(1)3月1日、ラッソ・エクアドル大統領がコスタリカへ訪問し、チャベス大統領と面会し貿易連携協定の署名をした。署名式には、コスタリカ側からは、チャベス大統領、アンドレ外務大臣及びトバル貿易大臣が出席し、エクアドル側からは、ラッソ大統領、オルギン外務大臣、プラド生産・貿易・投資・漁業省(MPCEIP)大臣、トレス駐コスタリカ大使が出席した。

(2)同協定は、両国間の貿易を規制・促進及び投資拡大の環境整備を目的とした明確で透明なルールを持つ法的枠組みを確立するための協定である。なお、同協定には優良な規制慣行、ジェンダー平等、中小企業に対する優遇措置に関する革新的な規定が盛り込まれた。

### 4 コスタリカ国内における5G 商用サービス導入・運用

(1)3月27日、コスタリカ電力公社(ICE)の「企業戦略2023-2027」の発表会において、マルコ・アクーニャICE社長は来年までにコスタリカ国内において5G商用サービスを導入・展開することを発表した。

(2)アクーニャ社長は、「数か月以内に5G商用サービス導入・運用請負企業を決定するための公開入札について公示し、ICEは2024年中にも5G商用サービスを開始する」と言及した。

(3)なお、ICEは、今後4年間で20億米ドル規模の事業投資を行う旨を発表した。同事業投資には、新たに12万本の光ファイバーの接続が含まれている。

(了)